

社協 かわじま



夏のボランティア体験

地域の方々のボランティア活動に参加する機会を提供し、ボランティアに興味・関心を持っていただくことを目的に「夏のボランティア体験プログラム（通称：夏ボラ）」を実施しました。

新型コロナウイルスの影響により、保育園や高齢者施設等でのボランティア体験の実施は中止となりましたが、希望者を対象に、おうちで出来るボランティアとして、雑巾の作成にご協力をいただきました。いただいた雑巾（計 86 枚）は、町内福祉施設に寄付させていただきました。

夏ボラにご参加いただいた皆さん、ご協力ありがとうございました。

主な
内容

- ・令和2年度 事業報告
- ・掲示板フレンドリー

- ・これまでのコロナ対策

2021.10
No. 97

令和2年度 事業報告

ともに支え合い 自分らしく生きられる 福祉のまち かわじま

コロナ禍で中止・縮小した事業もありましたが、感染予防を徹底し、なるべく事業を継続し、町民のみなさまが川島町で「ともに支え合い、自分らしく生きられる」ように活動いたしました。

住民の皆さまからのご協力

会員会費額	3,576,500円
赤い羽根共同募金額	2,586,408円
歳末たすけあい募金額	954,200円
一般寄附金額	268,173円

会費事業

会員会費を財源とした生活支援、介護予防サービス等を行いました。

①かわじま安心お助け隊事業

有償ボランティアが、援助に必要な高齢者や障がいがあるかたの通院や買い物等の生活支援を行いました。

- ・利用会員数 471名
- ・サポーター会員数 37名
- ・利用実績 885件、

1,330.6時間

②ボランティアセンター事業

ボランティアに関する相談、情報提供、登録、コーディネート、保険加入などの支援を致しました。

- ・登録団体 11団体 447名
- ・個人登録数 26名
- ・ボランティア活動保険加入者 9,882名

③ふれあい活動（見守り活動）

一人暮らし高齢者や高齢者世帯に対して、民生委員・児童委員や近隣住民による見守りと支援を行いました。

- ・対象世帯 32世帯
- ・推進員数 65名

④常設サロン助成事業

住民同士で運営する、地域住民が気軽に集まれる拠点（サロン）の運営を支援しました。

- ・助成件数 1件

⑤福祉協力校助成事業

小学校、中学校の児童・生徒を対象に、福祉に関する学習や実践活動を通して、「福祉のこころ」を育てることを目的に、福祉協力校を指定し推進を図りました。

福祉体験学習として、小学校での車いす体験やアイマスク体験、また認知症サポーター養成講座を実施しました。

- ・実施回数 2回

⑥100歳の祝い

100歳のお祝いに社協会長が訪問し、寿状、祝い金の贈呈と記念写真の撮影を行いました。

- ・対象者数 7名

⑦米寿の祝い

民生委員・児童委員協議会の協力により、88歳のかたを訪問し、記念品を贈呈し長寿をお祝いしました。

- ・対象者数 108名

⑧戦没者遺族支援事業

戦没者遺族に対する支援を実施しました。

- ・盆中慰問の実施（戦没者遺

族へ遺族連合会役員による
線香配布) 345世帯

⑨地区敬老事業への支援

敬老、交流を目的に、公民館主催の敬老事業へ助成金を交付しました。

・助成件数 4件

⑩福祉関係団体の支援

福祉関係団体の事務局として育成、支援を行いました。

- ・さわやかクラブ川島連合会
- ・川島町手をつなぐ育成会
- ・川島町遺族連合会
- ・川島町赤十字奉仕団

⑪車いす及び車いす対応自動車の貸し出し

日常生活の中で、移動が困難な心身障がい児(者)及び虚弱高齢者等に、車いすや車いす対応自動車の貸し出しを行いました。

- ・車いす貸出件数 25件
- ・自動車貸出件数 38件

⑫おうちで食べよう応援クーポン(お弁当宅配事業)

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う、外出自粛の影響を受けた単身高齢者及び飲食店に対する支援を実施しました。町内飲食店から希望者のご自宅へお弁当を宅配しました。

- ・期間 5月15日～6月30日
- ・延べ件数 211件
- ・実利用者数 71名

補助事業

補助金を財源とした高齢者福祉事業及び戦没者遺族支援事業を行いました。

①100歳の祝い及び米寿の祝い事業(再掲)

②戦没者遺族支援事業(再掲)

③地区敬老会事業助成事業(再掲)

受託事業

町等からの受託金を財源とした高齢者福祉事業及び福祉総合相談事業を行いました。

①ハッピー体操

健康づくりや介護予防、また、地域での交流を目的として、65歳以上の方を対象に、ハッピー体操を実施しました。

- ・活動実績 8か所、168回
- ・延べ参加者数 1,528名
- ・サポーター数 74名



ハッピー体操

②ファミリーサポートセンター

「子育てを手伝ってほしい人」と「自分の空いた時間で子育てのお手伝いができる人」が会員となっており、地域ぐるみで行う子育て支援事業を実施しました。

- ・会員数 援助会員97名、提供会員10名、両方会員1名
- ・利用件数 63件

③生活支援体制整備事業

地域包括ケアシステム構築の基礎となる高齢者の生活支援サービスの構築や必要な事業の検討を行いました。

- ・第1層協議体会議 1回
- ・地域の話し合いの場会議 1回
- ・地域ケア会議 9回
- ・チラシ配布 21回

④福祉総合相談事業

福祉の困りごとについて、地域包括支援センターの職員が相談を受け、相談内容に応じた対応、関係機関との連絡や調整等を行いました。

- ・相談件数 644件

福祉サービス利用援助事業(あんしんサポートねっと)

判断能力が不十分なかたに対し、生活支援員が定期的に訪問し、福祉サービスの利用や暮らしに必要なお金の出し入れなどを行いました。

- ・契約件数 5件
- (高齢者2件、障がい者3件)

福祉資金貸付事業

低所得者、高齢者、障がい者や離職者等の生活を支えるため、資金の貸付と必要な相談支援を行いました。

- ・生活福祉資金 8件

・新型コロナウイルス感染症特
例貸付

緊急小口資金 69件

総合支援資金 56件

(延長、再貸付含)

赤い羽根募金事業

赤い羽根共同募金を財源とし、地域福祉の推進を目的とした事業を実施しました。

①単身高齢者給食サービス(毎月第3木曜日)

一人暮らし高齢者を対象に、毎月第3木曜日に赤十字奉仕団による弁当の宅配サービスを実施しました。

・利用者累計 255名

(新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、4月～6月及び1月は中止し、電話で安否確認を実施しました。)

②広報紙の発行(6、9、2月)

「社協かわじま」を発行し、福祉サービス、活動状況などの広報活動を行いました。

③民生委員・児童委員と学校との話し合い

児童の健全育成のために、町内各小学校の先生と民生委員・

児童委員が各学校で話し合いを通じ、家庭環境等情報交換を行いました。

④福祉表彰の実施

町表彰式と合同で福祉表彰を実施しました。

・実施日 11月3日

場 所 川島町役場大会議室

社会福祉事業功労者表彰 7名

まごころ福祉表彰 8名

⑤地域療育事業

在宅障がい児世帯の集団活動、遊びや社会体験を通しての子どもの療育を実施しました。

・実施日 9月7日

場 所 Smile Café½

内 容 防災学習

参加数 22組

歳末たすけあい運動募金事業

①歳末たすけあい募金配分金事業

新たな年を迎える時期に、歳末たすけあい運動による町民の皆さまからの募金を、品物に変え、支援を必要とする世帯等へ民生委員・児童委員等を通じて贈呈しました。

・対象世帯 497世帯

介護事業

①訪問介護事業(ホームヘルパー)

利用者が能力に応じた日常生活をおくれるよう、ホームヘルパーを派遣して入浴、排泄、食事の介護その他の生活全般にわたる援助を行いました。

・月平均利用者数 57・4人

②高齢者外出支援事業(福祉有償運送)

要介護及び要支援のかたを対象に、病院、役所等の公共施設、日常生活を行う上で特に必要な場所への送迎サービスを実施しました。

・利用件数 747件

③通所介護事業(デイサービス)

利用者が能力に応じ自立した日常生活をおくれるよう、必要な日常生活上の機能訓練などを行い、利用者の社会孤立感の解消及び心身の機能の維持並びに利用者の家族の身体的、精神的負担の軽減を図る目的で実施しました。

・月平均利用人数 597人

④居宅介護支援事業(ケアプラン作成)

要介護状態等になった場合に

においても、利用者が可能な限り自宅で生活できるよう、利用者の希望に沿った適切な保健・医療・福祉のサービスが、多様な事業所から総合的かつ効率的に提供できるよう事業を実施しました。

・月平均利用者数 152人

老人福祉センター事業

高齢者福祉増進の拠点として、高齢者が健康で明るい生活が過ごせるよう、施設の維持管理と運営を行いました。(新型コロナウイルス感染症感染拡大防止及び修繕による臨時休館/令和2年2月29日～6月8日・令和3年2月3日～3月8日)

なお、再開後は新型コロナウイルス感染症感染拡大を防止するため、入館時の検温、消毒の徹底、町内在住者に限った利用、入浴の人数制限、カラオケの中止等を実施しました。

・利用カードの発行 260名

(令和2年度60歳到達者)

・避難訓練の実施(年2回)

・延べ利用者数 7,321人

地域包括支援センター事業

高齢者を支える相談機関として、保健師、社会福祉士、主任介護支援専門の職員が、高齢者等の心身の健康保持及び生活の安定のため必要な援助を行うことを業務とし、様々な相談を受けました。

①介護予防ケアマネジメント事業

町が把握、選定した特定高齢者についての介護予防ケアプランを作成し、必要な援助を行いました。

・対象者数 78名

②やすらぎ保健室

老人福祉センターやすらぎの郷で、月1回開催し、保健師が血圧測定や健康相談を通じて、困りごとや心配ごとの相談に応じました。

・参加者数 127名

③権利擁護事業

成年後見制度の活用促進、老人福祉施設等への措置支援、高齢者虐待や困難事例への対応、消費者被害防止等、高齢者の生活維持を図りました。

・高齢者虐待の相談 通報 15件
・川島町高齢者虐待防止ネット

ワーク全体会議の開催
啓発、広報事業

(虐待予防ポスター)

④包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

川島町内にある居宅介護支援事業所のケアマネジャーとの勉強会や情報交換会を3回実施しました。ケアマネジャー等への日常的な個別指導や支援を行いました。

・個別指導等 136件

⑤指定介護予防支援

(1) 介護予防サービス支援計画(ケアプラン)作成

要支援者における介護予防サービス計画を作成するとともに、介護予防サービス計画に基づき、介護予防サービス事業者等の関係機関との連絡調整を行いました。

・ケアプラン作成人数

1,365人

(2) 若返りサロン

要支援者や特定高齢者のかたを対象に、週1回、4〜6か月間、理学療法士の指導による運動教室を実施しました。

・延べ利用者数 220人

(3) 認知症を支える家族支援事業

認知症を支える家族の交流会

を実施し、認知症の介護経験のあるかたや現在介護しているかた等の情報交流の場として開催しました。

・参加者数 14人

(4) 認知症サポーター養成講座

認知症を正しく理解し、認知症になっても地域で安心して暮らしていけることができる地域を目指し養成講座を開催しました。

・開催回数5回

・参加者数 102名

伊草小学校6年生を対象に初めて小学生向けの養成講座を開催しました。

(5) オレンジカフェ

認知症のかた、その家族、地域のかたが誰でも気軽に立ち寄り、専門職への相談や情報交換ができる場を開催しました。

・延べ参加者数 44名



オレンジカフェ

(6) 認知症初期集中支援チーム

町内の40歳以上で認知症が疑われるかた、または認知症のかたで医療サービスを受けていないかたや適切な介護サービスに結び付いていないかた等を対象に、医師・看護師・行政と一緒に自宅を訪問し、相談や関係機関との連携、家族支援を行いました。

・対象者数 12名

(7) こころクラブ

どなたでも気軽に参加でき、介護予防ボランティアを中心に体操し、転びづらい体作り支援を行いました。

・延べ参加者数 351名

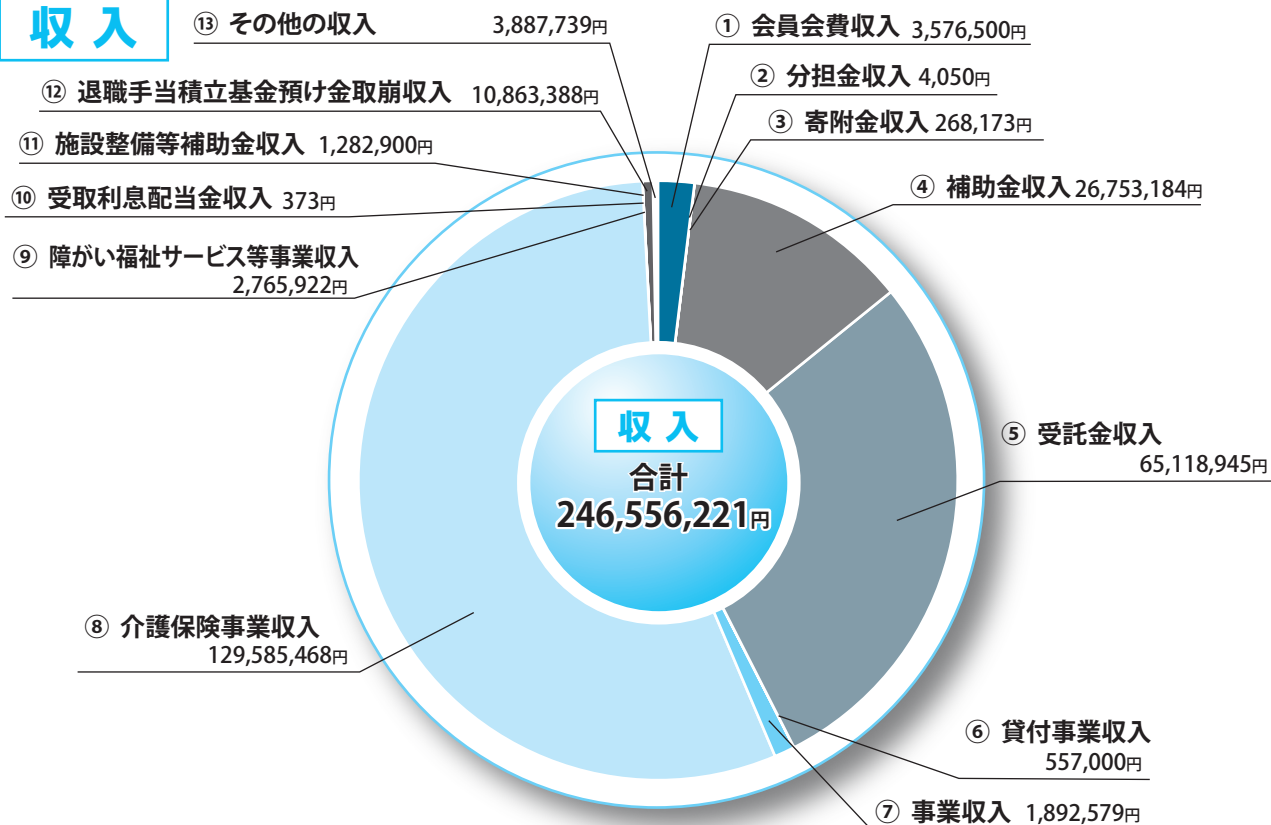
法人後見事業

判断能力が不十分なために、意思決定が困難なかたに対し、財産管理及び身上監護を行うため、法人後見事業を実施しました。

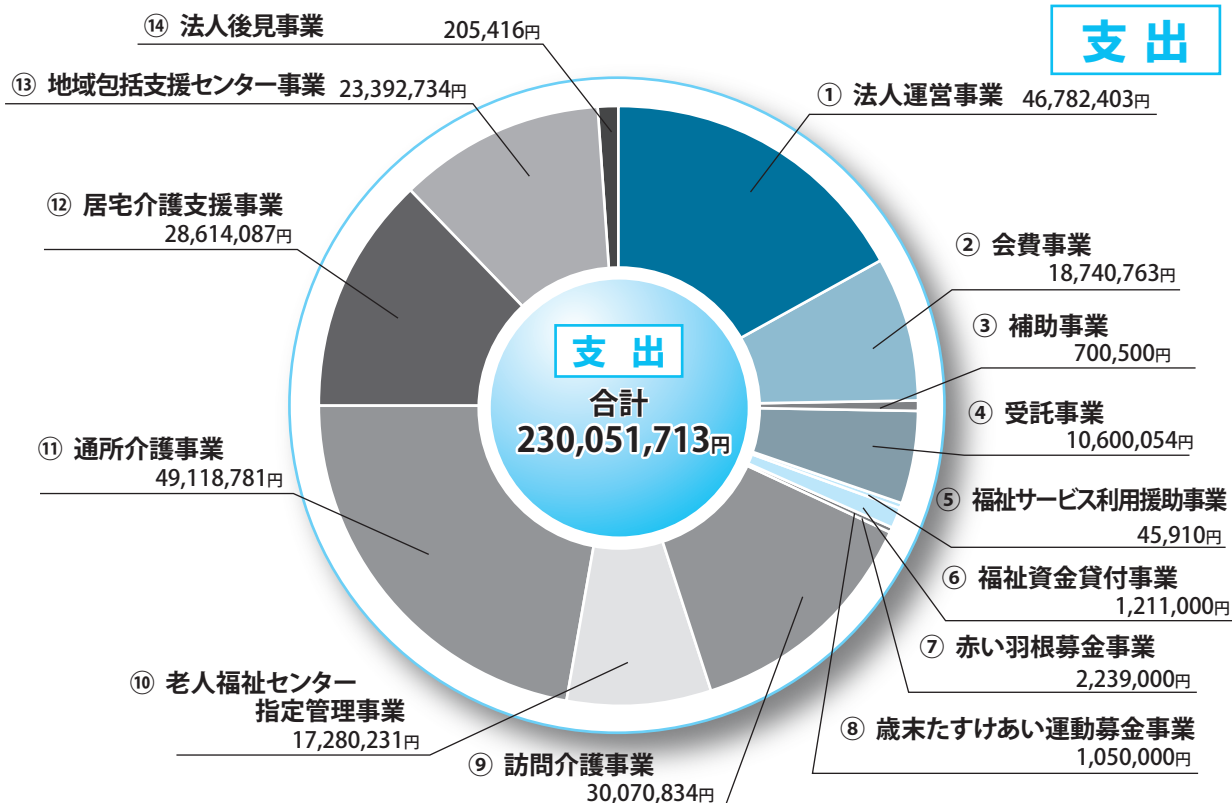
・対象者 1名
・運営委員会 3回

令和2年度 決算報告

収入



支出



※内部取引は相殺しています。

コロナに慣れるな！ コロナに負けるな！

緊急事態宣言が解除されましたが、事業継続の為に取っているコロナ対策、取り組み状況をご報告いたします。



- ① 毎日の体調確認、月一回PCR検査を全職員に実施しています。
- ② 事務所を2カ所に分け、分散勤務を実施し、職員同士の接触回避、職員に陽性者が出た場合の濃厚接触回避を実施しています。
- ③ 利用者宅への訪問の際は、ソーシャルディスタンスを保ち、玄関先でお話しています。また、電話や書面でのやり取りを増やしています。
- ④ テレワーク（在宅勤務）を試験的に実施しました。自宅で書類整理をしたり、連絡のあった利用者には自宅から連絡を取ったりしました。
- ⑤ 送迎などのサービスは、車両乗車時にご利用者へのマスク着用、検温、消毒徹底等の感染予防対策を実施しています。
- ⑥ デイサービスでは、各テーブルに飛沫防止パネル、洗面所に飛沫防止シートを設置し、洗面所の使用毎に消毒を実施しています。また、食事やおやつ摂取前後にテーブルの消毒、マスクの着用忘れの声掛け等感染拡大防止を徹底し、事業を実施しています。

ご寄付報告

たいへん貴重なご寄付誠にありがとうございました。大切にさせていただきます。

株式会社花恒様 10万円

本間 裕至様 写真画

掲 示 板

フ レ ン ド リ ー

デイサービス介護職員・訪問介護ホームヘルパー 訪問介護サービス提供責任者募集!

川島町社会福祉協議会では、『デイサービス介護職員・訪問介護ホームヘルパー・訪問介護サービス提供責任者』を以下のとおり募集しています。持っている資格を活かしてみませんか。お気軽にお問合せください。



デイサービス 介護職員

- | | | |
|---|------|--|
| 1 | 資格要件 | 介護職員初任者研修課程修了者（旧ヘルパー2級）、又は介護福祉士。普通自動車運転免許を有する人。（※資格無しでもご相談ください。） |
| 2 | 勤 務 | 週1日からでも可能です。ご相談ください。 |
| 3 | 時 給 | 1,000円～（資格によります。年2回ボーナス有） |
| 4 | 業務内容 | デイサービスでの介護全般、運転、清掃等の施設管理業務。 |

訪問介護 ホームヘルパー

- | | | |
|---|------|---|
| 1 | 資格要件 | 介護職員初任者研修課程修了者（旧ヘルパー2級）、介護福祉士、看護師等（保健師、看護師、准看護師）または実務者研修修了者。普通自動車運転免許を有する人。 |
| 2 | 勤 務 | 週1日からでも可能です。ご相談ください。 |
| 3 | 時 給 | 生活援助：1,280円～（資格によります。年2回ボーナス有）
身体介護：1,620円～ |
| 4 | 業務内容 | 介護保険法及び障害者総合支援法に基づく、ホームヘルパー業務。 |

訪問介護サービス 提供責任者

- | | | |
|---|------|--|
| 1 | 資格要件 | 介護福祉士、看護師等（保健師、看護師、准看護師）、実務者研修終了者または訪問介護に関する旧1級課程修了者。普通自動車運転免許を有する人。 |
| 2 | 勤 務 | 週2～3日程度。 |
| 3 | 時 給 | 1,060円～（資格によります。年2回ボーナス有） |
| 4 | 業務内容 | ・介護保険法及び障害者総合支援法に基づくサービス提供責任者業務
・ヘルパーの管理、指導、調整
・訪問介護計画等パソコンでの書類作成 など |

7月大雨災害（静岡県熱海市） 義援金のお礼

7月に起きました大雨災害の義援金募金を保健センター、やすらぎの郷で行い、合計1,453円集まり、埼玉県共同募金会へ送金しました。

引き続き、8月大雨災害（広島県、長崎県、島根県等）の義援金を募集しておりますので、温かいご支援、ご協力のほどお願い申し上げます。

川島町赤十字奉仕団員募集!

新入団員を募集しています。一緒に活動してみませんか?

地区区分と連携し、地域の災害時における炊き出しや義援金の募集、社会福祉施設への慰問・労力奉仕、赤十字活動資金の募集、収納など幅広い奉仕活動をしています。

「川島町赤十字奉仕団の主な活動」

単身高齢者弁当宅配、県・町主催行事参加、デイサービスボランティア、高齢者施設慰問、地域防災活動、献血推進活動など

お問い合わせ先 川島町社会福祉協議会(地域福祉係)
TEL. 049-297-7111

お問い合わせ・お申し込み：社会福祉法人川島町社会福祉協議会（老人福祉センター内）

電話 049-299-6630

午前8時30分から午後5時15分（月～金曜日、祝日を除く）



社会福祉法人 川島町社会福祉協議会

〒350-0131 埼玉県比企郡川島町大字平沼1175番地

TEL. 049-297-7111 FAX. 049-297-7112 E-MAIL: shomu@kawajima-shakyo.or.jp